

記入例

令和6年度SHASE技術フェロー認定申請書

A.必須条件				申請日 令和 年 月 日	
①申請者の氏名等	氏名		生年月日:		
	勤務先	所在地	〒		
		名称・役職等			
		電話番号			
		Eメール			
②会員歴		年 月 日入会	累積会員歴年数		年
③専門分野	分野	計画・設計系	研究・開発系	学術系	施工系
	専門1(専門領域)	1)空調	2)衛生	3)建築	4)電気
		5)機械	6)環境	7)エネルギー	
	専門2(専門技術)	①業務施設関連技術	②産業施設関連技術	③特別施設関連技術	④LCM・運転保守管理技術
⑤環境技術		⑥応用基礎工学技術	⑦法令・周辺事業領域		
		⑧その他()			
④SHASE-CPD		(手帳記載の番号)NO			
		SHASE-CPD 累積取得ポイント		ポイント	

※累積取得CPDポイントは、CPD参加登録をした日から申請日までに認定されたポイントになります。

申請日までに履歴登録を完了しポイント認定を受けてください。

なお、ポイント認定の審査には約1か月程度かかります。

※記載内容については、別紙「申請書の記入例」を参照ください。

記載内容について疑義がある場合、審査員から申請者へ、直接確認の連絡をします。

【事務局記入欄】

特記事項	
------	--

SHASE技術フェロー認定申請書

■記載注意事項

注1. 入会年月日(退会歴がある場合、最初の入会日)を記載ください。会員歴累積年数15年以上が必須条件です。

年数は**当該年度の3月31日**から計算して学生会員、正会員歴累積年数を切捨てて記載ください。

注2. SHASE-CPDの登録番号および累積ポイントを必ず記載ください。累積250ポイント以上が必須条件です。

注3. 専門分野:選考基準および下記を参考に記載ください。

専門分野は、本会が技術フェローとして活動していただく際の目安としますので、これに配慮して選定ください。

分野: 記載の4つの系の中から、該当する系を選定し、1つだけ○で囲んでください。

例①: 保守管理→計画・設計系 例②: 行政→計画・設計系又は研究・開発系

専門1(専門領域): 記載の7つの中から、該当する系を選定し、1つだけ○で囲んでください。

例①: 計装・制御→得意分野として1)~7)の中から選定

例②: 機器設計・開発→5) 機械 例③: 防災システム→1)~4)の中から選定

専門2(専門技術): 記載の7つの中から、該当する系を選定し、1つだけ○で囲んでください。

例①: 住宅関連技術→業務施設関連技術

⑧その他: ①~⑦に該当しない場合は、15文字以内で記載ください。

※添付書類はPDFにして、必ず右上に必ず分類番号を記入してください。(例 d-1)

※氏名、入会年月、勤務先(会社名)、専門分野を除き記載のデータは全て非公開とします。

※今後の連絡は、特別の場合を除きEメールで行います。

令和6年度 SHASE技術フェローの応募要件(技術レベル)確認書-1

申請者氏名	
-------	--

※記載については「確認書-1の記入例」および選考基準を参照して記入ください。

確認書-1の記入例: 下記および「選考基準」を参照して記載ください。

1. (a)～(c)の順に、該当する項目を具体的に記載ください。

「技術フェロー選考基準」の「B. 技術レベルの要件」の(a)～(c)の記載事項	
(a) 受賞歴	
受賞名	〇〇年5月 学会賞技術賞受賞／〇〇ビルの空気調和設備(受賞件名)
本人の役割および関与	記載例: この業績は、……………、主任設計担当者として空調設備の設計を担当した。
	記載例: この業績は、……………として評価された。
受賞名	
本人の役割および関与	
<p>注1) 表彰状だけでは「エビデンス」になりませんので、ご注意ください。</p> <p>注2) 学会賞技術賞、技術振興賞等に関与したときは、何名が関係し、その中で何をしたか、「担当者としての役割」も記載ください。</p> <p>注3) 複数数を記載しても差し支えありません。ただし、記載数は考慮しません。</p> <p>「担当者としての役割」の記載が認められない場合、審査の対象にはなりません。</p> <p>※本学会以外の受賞の場合、本人の名前が掲載され、受賞実績がわかる資料(数枚以内)でご提出してください。</p>	
(b) 資格、称号	
(b-1) 関連外国学会フェロー	
フェロー名称 (確認できるHP等の記載)	記載例: 称号名称、番号等(ホームページで確認できる場合、記載ください)
(b-2) 博士、技術士、設備設計一級建築士、建築設備士、一級管工事施工管理技士、 空気調和・衛生工学会設備士または高度な資格	
資格名称(番号、登録年)	記載例: 技術士(……、2003年)、建築設備士(合格番号……、1999年)
<p>注1) (b-1)、(b-2)のうち該当するもの全てを記載しても差し支えありません。</p> <p>ただし、審査では、「(b) 資格、称号」として扱い、記載数は考慮しません。</p> <p>※資格・称号について、本人の名前が掲載され、資格・称号がわかる資料(数枚以内)のpdfを提出ください。</p>	
(c) 本学会活動への顕著な寄与: 理事、監事、委員会委員長、主査、幹事の歴任、本部支部の委員会活動歴	
活動歴 1	記載例: 〇〇委員会委員として活動、成果報告書「……」第〇章の原案を作成した。
活動歴 2	記載例: 〇〇支部△△幹事として、支部学術研究発表会を立上げ……………。
<p>注1) 委員会活動の場合／関与した委員会を三つ程度あげ、何に関係し、その中で何に貢献したのかを記載し、必ず委員会名簿などの関与が明確に分かる書類を提出してください。</p> <p>「担当者としての役割」も記載ください。 委員会名の列記のみでは、審査の対象にはなりません。</p> <p>注2) 活動歴には、確認のため、必ず活動期間を記載ください。</p>	
委員記入欄	

令和6年度 SHASE技術フェローの応募要件(B.技術レベル)確認書ー3

B. (e)教育業績

申請者氏名	
-------	--

「技術フェロー選考基準」の「B. 技術レベルの要件」の(e)教育業績の記載	
分類番号	内容
「技術フェロー選考基準」の「B. 技術レベルの要件」(e)の分野に応じた i)、ii)に分類し記載のこと	
1. 研修会、講習会、見学会の実績についてはCPD対象であることが望ましい(CPD団体は問わない)。	
2. 分類番号欄は分野に応じた i)、ii)に分類し記載ください。	
3. 業績内容は、「内容」欄に記載ください。業績は1から順に番号を付け総数がかかるよう記載ください。	
4. 下記は内容欄に必要な記載項目です。	
【計画・設計系、研究・開発系】: 教育的立場の実績	
社内外に対しての教育活動を推進・指導する立場にあり、その実績を有すること	
i) 社内外の研修会や講習会などの講師実績	
①業績名、②担当した部分、③関与の仕方(例/主務者、複数の担当者の中の一人)	
④研修・講習会の開催年月、⑤業績の特徴(1~2行)、⑥CPD番号(該当の場合)	
ii) 現場見学会の開催実績(主担当)	
①業績名、②担当した部分、③関与の仕方(主担当であること)、	
④見学会の開催年月、⑤業績の特徴(1~2行)、⑥CPD番号等(該当の場合)	
【学術系】: 専門分野における指導的立場の実績	
研修・講習または産官学の連携活動に対して指導的立場にあり、その実績を有すること	
i) 研修会や講習などの講師実績	
①業績名、②担当した部分、③関与の仕方(例/主務者、複数の担当者の中の一人)	
④研修・講習会の開催年月、⑤業績の特徴(1~2行)、⑥CPD番号(該当の場合)	
ii) 産学官共同研究の実績	
①業績名、②担当した部分、③関与の仕方(例/主務者、複数の担当者の中の一人)	
④共同研究の期間、⑤業績の特徴(1~2行)	
【施工系】: 教育指導的立場の実績	
社内外の教育活動を推進・指導する立場にあり、その実績を有すること	
i) 社内外の研修会や講習会などの講師実績	
①業績名、②担当した部分、③関与の仕方(例/主務者、複数の担当者の中の一人)	
④研修・講習会の開催年月、⑤業績の特徴(1~2行)、⑥CPD番号(該当の場合)	
ii) 現場見学会の開催実績(主担当)	
①業績名、②担当した部分、③関与の仕方(主担当であること)、	
④見学会の開催年月、⑤業績の特徴(1~2行)、⑥CPD番号等(該当の場合)	
4. 業績内容、役割、氏名等が掲載されている出版物等の資料(数枚以内)をpdfデータで必ず提出ください。	
委員記入欄	教育活動実績
	i) 講師回数 件
	ii) 講師回数 件
実績要件の合計点数	